

教会と音楽セミナー 第2回 総論：クラシック音楽の変遷と教会

ヨーロッパ旅行に欠かせないのが教会めぐり。教会は多くの日本人にとって異文化なので、見ているだけでも新鮮な気分を味わえますが、何度も教会を訪れていると「もっと深い知識があったなら…」と欲張りに感じる方も少なくないはず。第1回では、教会とキリスト教について、教会と音楽の関係についてを時代背景や人々の暮らしなどと絡めて「教会の変遷」を学びました。

第2回では古い時代から新しい時代へのクラシック音楽の移り変わりを、主に教会で演奏された音楽を追うことで探ります。さらに、有名な教会音楽が演奏された聖堂と作曲家の関係にもスポットを当てます。私たちがよく知るモーツァルトやベートーヴェンは、実はかなり「新しい」クラシック。中世に始まったクラシック音楽のもととなる「古楽」までさかのぼり、当時の教会と密接な関係を保ちながら現代のクラシック音楽へとつながる道のりを学んでみましょう！

第2回は、古い時代から新しい時代へのクラシック音楽の変遷を学びます！

◎ 日時： 2018年3月10日(土) 10:00~12:00 (2時間)

◎ 場所： Space 415 (JR・メトロ中野駅より徒歩12分)

◎ 講座内容：

1： 教会音楽のいろいろ

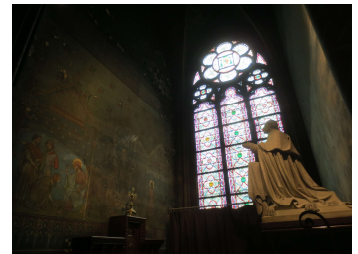
「教会で音楽が演奏されるのはどんなとき？」

キーワード： 聖務日課 / 典礼 / ミサ / 礼拝

2： 教会音楽の変遷 — 世界の美しい聖堂とともに

「この聖堂にはどんな音楽が響いていたの？」

キーワード： ミサ曲 / カンタータ / 受難曲 / オラトリオ / 単声聖歌 / コラール



☆ 取り上げる聖堂の例

- ・ ザンクト・ガレン修道院 (スイス・ザンクトガレン、世界遺産)
- ・ ノートルダム大聖堂 (フランス・パリ、世界遺産)
- ・ サン・マルコ大聖堂 (イタリア・ヴェネツィア、世界遺産)
- ・ サン・ピエトロ大聖堂 (イタリア・ローマ、世界遺産)
- ・ シュテファン大聖堂 (オーストリア・ウィーン、世界遺産)
- ・ 聖トーマス教会 (ドイツ・ライプツィヒ) ほか



☆ 取り上げる教会音楽の例

- ・ グレゴリオ聖歌
- ・ バッハ/主よ、人の望みの喜びよ (カンタータ第147番《心と口と行いと生きざまもて》BWV147より)
- ・ ベートーヴェン/ミサ・ソレムニス ・ マジョー/ノートルダム・ミサ曲
- ・ パレストリーナ/教皇マルチェルススのミサ曲
- ・ 三大レクイエム (モーツァルト、ヴェルディ、フォーレ作曲《死者のためのミサ曲》) ほか

◎ 講師： 渡邊 温子 (チェンバロ奏者 武蔵野学院大学・大学院非常勤講師)



国立音楽大学、ドイツ・ヴェルツブルグ音楽大学卒。有田千代子、グレン・ウィルソン諸氏に師事。'02年より3年間ワシントンDCに滞在、アメリカ古楽界を牽引する演奏家と共演。現在は演奏活動とともにメールマガジン「月刊パロック通信」や市民講座を通じて古楽の魅力を広める。'16年7月『古楽でめぐるヨーロッパの古都』を上梓。武蔵野学院大学・大学院非常勤講師。タニタ楽器音楽教室チェンバロ科講師。日本チェンバロ協会会員。ブログ：チェンバロ弾きのひとりごと



◎ 参加対象： 高校生以上

◎ 参加費用： お一人様 3,500円 (税込み)
 ※事前予約・お振込み必要 ※高校生・大学生も同一料金

◎ 申込締切： 3月6日(火)お振込み到着分まで

◎ キャンセル規定： 3日前50%、前々日80%、前日および当日100%

◎ 最少催行人数： 8名様 (最大25名様まで)

◎ お申込・お問合せ： 株式会社アイ・ティ・エス (i Travel Square)

website: <http://i-travel-square.tokyo/seminar/church-music/>

email: info@i-travel-square.tokyo tel: 03-6706-4700